

平成 27 年度九州地区大学等技術研究協議会会議議事要旨

日 時 平成 28 年 3 月 18 日 (金) 13:30~15:00

場 所 九州工業大学 (戸畑キャンパス) 百周年中村記念館・特別会議室

出席者 中島 弘道 (議長:長崎大学)

○島津 公紀、竹内 幸二、宮元 章 (北九州工業高等専門学校)・堀田 孝之 (有明工業高等専門学校)・○屋良 朝康、釣 健孝、新田 保敏、儀保 健太 (沖縄工業高等専門学校)・○浅川 和彦、井本 祐二、田淵 誠 (九州工業大学)・○松川 洋二、森谷 晋、神田 敏和、石井 大輔 (九州大学)・久田 英樹 (長崎大学)・○山内 直利、吉田 浩、永淵 一成 (佐賀大学)・○嶋田 不美生、高橋 徹 (大分大学)・○矢北 孝一、上村 実也 (熊本大学)・○斎藤 泰男、木村 正寿、甲斐 崇浩 (宮崎大学)・○愛甲 頼和、中村 喜寛 (鹿児島大学)・○渡嘉敷 直盛、名嘉 秀和 (琉球大学) (合計 32 名)

議事録 ○野村 謙次 (長崎大学)

欠席校 佐世保工業高等専門学校、久留米高専工業高等専門学校

○ (代表)、(別紙 1 参照)

議 題

- (1) 平成 27 年度九州地区総合技術研究会 in 九州工業大学 実施報告
報告:九州工業大学
- (2) 平成 29 年度開催機関 沖縄工業高等専門学校 準備状況報告
報告:沖縄工業高等専門学校
- (3) 平成 31 年度の開催機関について 近隣の大学および高専との共同開催
- (4) 技術研究協議会参加登録に関する個人情報及び発表要旨の取扱ルールの策定について
- (5) 技術力向上のための技術研修の開催・受入について
- (6) 職員の採用及び異動希望に関する情報の共有について
- (7) その他

審議事項

(1) 平成 27 年度九州地区総合技術研究会 in 九州工業大学 実施報告

九州工業大学事務局より、九州外の大学から 37 名、九州管内の大学から 145 名、九州外の高専から 2 名、九州管内の高専から 18 名、放射線医学総合研究所から 1 名、合計 203 名の参加があった旨の報告があった。

参加形式別では**口頭発表 23% (46 件)**、**ポスター発表 17% (35 件)**、**聴講参加 60% (119 名)**があった。参加機関別では大学 77% (23 機関) 高専 20% (6 機関)、研究所 3% (1 機関) であった (以上事前登録者 200 名で算出)。

分野別では、**情報・ネットワーク技術分野、学生実験・実習技術、地域貢献分野、機械・ガラス工作技術分野の 3 分野の参加者が多かった。**(別紙 2 参照)

(2) 平成 29 年度開催機関 沖縄工業高等専門学校 準備状況報告

沖縄高専より、九州地区総合技術研究会 in Okinawa について開催案が示された。

1) 平成 29 年度開催の「九州地区総合技術研究会 in Okinawa」について (案)

1. 開催会期 平成 30 年 3 月上旬
=>他の研究会のスケジュールに合わせて、今後検討する。
2. 会 場 沖縄高専または名護市内のホテル
3. 内 容 特別講演 (講演者、内容共、未定)
技術研究発表 (口頭、ポスター)
九州地区大学等技術研究協議会会議 (会場未定)
エクスカージョン (名護周辺の見学会を予定)
情報交換会 (名護市内のホテル)
4. 発表分野 従来通りの 11 分野を予定、11 分野外の発表についても募集する。
5. その他 会期については、九工大で開催される情報技術研究会の会期と重ならないように配慮したい。

2) 九州工業大学より発表分野について開催機関のごとの特色があるので、次回以降発表分野については開催機関にゆだねることを決定していただきたい。との提案があった。九州地区大学等技術研究協議会として、「開催機関のほうで発表分野についても決定していただく」ことが了承された。

3) 鹿児島大学より九州工業大学が毎年開催している情報技術研究会の開催日程について質問があった。九州工業大学より、平成 28 年度については平成 29 年 3 月 16 日 (木)、17 日 (金) に開催することを決定しているとの回答がなされた。また、実験・実習技術研究会とか総合技術研究会は 3 月の頭 (1 週、2 週) に開催される傾向があるので、大学入試後期日程試験終了後の 3 週目、3 週目の週の前半 (月、火) もしくは後半 (木、金) を目安に計画している。情報技術研究会開催日程は他の技術研究会の日程に柔軟に対応している旨の説明があった。

4) 有明高専よりの質問

- ・ 九工大さんと他の機関へ 200 名規模の技術研究会の運営スタッフのボリュームについて
- ・ 次回開催の沖縄高専さんの運営スタッフの他機関 (琉球大学、他の高専) への応援依頼等について
九州工業大学 技術職員は 80 名弱在籍、戸畑キャンパス、飯塚キャンパスがある。戸畑キャンパスの技術職員 40 数名が会場設営等の実質的運営スタッフの数である。ただし、役割を分担しており絶対人数ではない。

沖縄高専の状況としては技術職員が 10 名いるとの現状が説明され、非公式に琉球大学から応援の申し出があり、これから検討しますが、他の高専さんについてもご協力を依頼する可能性があります。その際はご協力お願いいたしますと依頼があった。

九州工業大学より座長、時計係等は当日だけでも依頼できるので柔軟に考えていただきたいとのコメントがあった。

5) 平成 29 年度の沖縄高専で開催される九州地区総合技術研究会の琉球大学への協力依頼について開催機関の沖縄高専と琉球大学で協議し、琉球大学が九州地区大学等技術研究協議会から正式依頼を受けたほうが良いとなれば、九州地区大学等技術研究協議会から琉球大学へ協力依頼を要請することが了承された。

(3) 平成 31 年度の開催機関について 近隣の大学および高専との共同開催

上村事務局長より沖縄高専の次の平成 31 年度の開催機関が九州地区大学等技術研究協議会でまだ決まっていない。平成 31 年度の開催機関を近隣の大学および高専との共同開催など協議していただきたいと提案があった。

- ・ 9 月開催は台風の懸念がある。
- ・ 平成 31 年度は実験・実習技術研究会技術研究会の鹿児島大学開催が決定している。
- ・ 九州大学は平成 30 年度に九州大学総合技術研究会の開催予定。
- ・ 平成 31 年度に九州地区総合技術研究会を開催できる機関、開催を検討している機関は無く、平成 31 年 3 月に研究会を開催しようとするれば、九州地区内で一つの研究会開催が好ましい。九州地区大学等技術研究協議会として鹿児島大学さんへ「平成 31 年度の九州地区総合技術研究会は実験・実習技術研究会と同時開催」を検討願うこととした。

これについて鹿児島大学は、学内調整、実験・実習技術協議会との調整等が必要であるため、持ち帰り検討することとした。

結果については、平成 29 年度開催の沖縄高等専門学校の協議会で報告する。

(4) 技術研究協議会参加登録に関する個人情報及び発表要旨の取扱ルールの策定について

今回の技術研究会参加者より、報告集原稿の取り扱いについて質問があり、九州地区大学等技術研究協議会で技術研究協議会参加登録に関する個人情報及び発表要旨の取扱ルールの策定について実験・実習技術研究会の取り扱いルールを参考に策定することとした。

「技術研究協議会参加登録に関する個人情報及び発表要旨の取り扱いルールの策定について」提案資料を元に九州工業大学より説明があった。

国立大学等九州地区総合技術研究会（以下研究会）における登録情報および報告集原稿の取り扱いについては、以下のとおりとします。

1. 登録情報（個人情報）の取り扱いについて

1-1 研究会ウェブサイトより研究会への参加登録を行った者（以下参加者）は、研究会実行委員会が取得した登録情報の一部を、利用することを承認するものとします。

また、その掲載方法、様式などについては、実行委員会に一任するものとします。

1-2 実行委員会は、登録情報を研究会運営の目的のみに利用するものとします。

1-3 実行委員会は、以下、アからエに該当する場合を除き、登録情報の第三者への開示または提供は行わないものとします。

ア 参加者本人の同意がある場合

イ 統計的なデータなど本人を識別することができない状態で開示・提供する場合

ウ 法令に基づき開示・提供を求められた場合

エ 今後開催される技術研究会の案内等に利用する場合

1-4 実行委員会は、研究会の残務処理が終了した後、登録情報を適切な方法で破棄するものとします。但し、次回開催校の開催案内などのアナウンス用にメールアドレスは保存し利用するものとします。

2. 報告原稿の取り扱いについて

- 2-1 参加者のうち、技術発表を行うもの（以下発表者）は、自己の発表内容を実行委員会指定の書式により記述した原稿（以下報告集原稿）を、実行委員会に提出するものとします。
- 2-2 報告集原稿の著作権は、発表者に帰属します。
- 2-3 発表者は、報告集原稿を印刷物や電子データ等の形式で出版、複製、配布、公表、保存する権利を実行委員会に与えるものとします。
- 2-4 発表者は、報告集原稿の内容に著作権、知的財産権、肖像権、特許権等の侵害に当たる箇所があった場合、その責任を負うものとし、その結果発生したいかなる損害についても実行委員会および主催者はその責任を負わないものとします。
- 2-5 報告集原稿をもとに実行委員会が作成した研究会報告集やウェブページの活用は、活用者本人の自己責任において行われるものとし、閲覧等に基づいて発生したいかなる損害についても実行委員会および主催者はその責任を負わないものとします。

提案内容については、この協議会で初めて提出されたこともあり、引き続き協議することとした。

意見等があれば事務局で集約、後日、メール審議とし決定、決定内容は議長名（九州工業大学）で発信する。次回開催の沖縄高専開催の技術研究会から使うこととした。

沖縄高専の研究会で国立大学等九州地区総合技術研究会（以下研究会）における登録情報および報告集原稿の取り扱いについては開催案内と同時に事前に配布される形とする。

（5）技術力向上のための技術研修の開催・受入について

熊本大学から技術力向上のための技術研修の開催・受入について提案があり、研修を計画している大学は、Web上で研修計画を公開するとともに、開催校から九州地区大学等技術研究協議会のメーリングリストで案内することとした。事務局がメーリングリストを作成し、メールアドレスを周知する。

（6）職員の採用及び異動希望に関する情報の共有について

熊本大学より、職員の採用及び異動希望に関する情報を九州地区大学等技術研究協議会で共有したらいかがかと提案があった。

採用に関する情報は、九州地区国立大学法人等職員採用試験事務室のホームページで公開されている。また、移動希望情報に関しては個人情報を公開することにつながるため当面は、該当機関間で連絡を取り合うこととした。

（7）その他

- ・有明高専より研究会開催と同時に開催機関独自の施設等の公開を検討していただきたい旨の要請があった。研究会等の日程に合わなければ、大きな機械導入とかに合わせて別途案内していただいてもよい。
- ・次回開催の沖縄高専より美ら海水族館の一般見学者が入れない見学コースの見学を検討している、見学のコースのリクエスト等は受け付けますとの説明があった。
- ・平成31年度の開催機関について 近隣の大学および高専との共同開催について、平成33年度以降

については共同開催も考慮して企画していくこととした。

中島議長（長崎大学）の任期が終了し、次期議長には井本氏（九州工業大学）が就任することが確認された。

以上